

ハートマークだより



マークの由来

医療関連サービスには、高い技術の裏付けとともにそれを提供する人々の真心や愛情が必要です。この医療関連サービスマークは、2つのハートによってより良きサービスを築き上げていくために医療機関と医療関連サービス事業者がお互いの心を通い合わせていることを意味し、3つの丸印によって国民がそのサービスに支えられていることを表現しています。

2018.7
NO.11

◆ 2018.6 認定審査における主な改善指導事項について

1. 認定概況

今回は、申請件数(新規)321(23)件のうち、認定は320(22)件、非認定は1(1)件でした。

認定の内訳は、完全適合207(7)件、改善指導付95(12)件、条件付18(3)件となりました。

※ 完全適合とは、改善指導事項が付されなかった認定をいい、改善指導付き(条件付を含む。)とは、評価項目中に下位評価項目が付されたものである。

2. 主な改善指導事項

(1) 全業務共通

従事者研修体制

(研修体制未整備、初任者・現任者カリキュラム未作成、年間実施計画の未作成、改善見直し検討の未実施、見直し検討記録未作成)

初任者・現任者研修体制

(初任者・現任者研修未実施、受講者欠落、研修項目欠落、研修記録未作成、研修記録未保管、修得状況評価の未実施)

健康管理体制

(雇い入れ時健康診断の未実施・受診者の欠落、定期健康診断の受診者欠落、産業医の未専任、前期等健康診断の未実施、健康診断結果の管理不適正)

自己評価実施体制

(自己評価未実施、実施回数不十分、評価記録の未作成、評価改善検討未実施、評価改善検討結果の未作成)

(2) 業務別

① 在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務

保守点検用具管理体制

(校正マニュアル未作成、酸素濃度計未校正、流量計の校正記録未作成)

酸素供給装置修理報告体制

(再委託先からの報告書未受理、医療機関未報告)

患者家族連絡体制未整備

代行保証体制

(医療機関未周知)

② 院外滅菌消毒業務

医療機関との連絡体制

(連絡未実施・協議記録未作成)

EOGボンベの配置体制

(不表示)

運搬容器管理保管体制

(容器{密閉性・防水性・耐貫通性}の要件不備)

消毒薬の保管・管理体制

(開封年月日・有効期限の未明記)

③ 寝具類洗濯業務

消毒業務記録

(記載状況不備、記録不保管)

④ 患者等給食業務

調理機械管理体制

(病院未確認)

指導助言者業務体制

(業務実施状況不備、設備関係実施状況不備、記録不保管)

食材納入関連体制

(検収項目欠落)

検便検査

(規定未整備)

給食業務日誌未整備

⑤衛生検査所業務

医療安全への取組

(検査結果に起因した医療事故に対する医療安全推進のための組織体制が未確立とともに職員研修も行われていない)

マネジメントレビュー

(マネジメントレビューは実施されていたがアウトプットの記録がない)

測定手順・検査業務の管理

(測定結果に影響を与える不確かさの要因が明確にされていない)

検査結果報告書

(顧客ニーズに合った検査報告書の年1回以上のレビューが行われておらず記録もない)

病理学的検査の外部委託

(外部委託先が一部未認定施設である)

病理標本作製

(標本が一定期間保管されていない)

⑥院内清掃業務

清掃用具管理体制

(用具一覧表未作成)

日常清掃業務以外(再委託)業務対応体制

(契約書未作成、契約事項不適切)

受託責任者作業計画指導監督体制

(評価改善指導記録未作成)

日常定期点検評価等体制

(評価基準未制定、評価記録未作成、病院報告未実施)

定期清掃定期点検評価等体制

(評価基準未制定、点検未実施、評価記録未作成)

薬品使用管理体制

(消毒薬使用記録未作成、使用者定め未制定)

日常的健康管理体制

(健康管理チェック記録未作成)

病院との連絡体制

(連絡・協議記録未作成、体制図等不明確)

業務案内書

(定期見直し未実施)

標準作業書

(定期見直し未実施)

倫理綱領

(理解不足)

患者家族対応体制

(反復教育回数不足)

業務管理日誌

(日誌保管不適正)

⑦医療用ガス供給設備の保守点検業務

医療機関との連絡体制

(未明示)

資器材保守点検体制

(不具備、記録未作成、圧力計の未校正)

作業記録体制

(受託責任者による従事者押印の未確認)

⑧院内滅菌消毒業務

消毒薬の保管・管理体制

(開封年月日・有効期限の未明記)

(化学的・理学的)滅菌済みの確認体制

(モニターパックの設置数不足)

(生物学的)滅菌済みの確認体制

(モニターパックの設置数不足)

受取・引渡記録

(保管・管理の不備)

保管室への立ち入り禁止事項表示の未明示

運搬台車等の消毒体制

(消毒記録未作成)

医療関連サービスマークの認定について (平成30年6月1日認定分)

業務区分	申請件数	認定			非認定	認定有効事業者等の総数 [参考]
		完全適合	改善指導等	計		
在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務	32 (0)	28 (0)	4 (0)	32 (0)	0 (0)	204 (206)
院内滅菌消毒業務 (※)	3 (1)	2 (1)	1 (0)	3 (1)	0 (0)	50 (51)
寝具類洗濯業務 (※)	18 (1)	14 (1)	4 (0)	18 (1)	0 (0)	249 (251)
患者等給食業務	44 (4)	31 (1)	12 (2)	43 (3)	1 (1)	174 (176)
衛生検査所業務 (※)	20 (1)	19 (1)	1 (0)	20 (1)	0 (0)	121 (123)
患者搬送業務	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (3)
院内清掃業務	155 (13)	83 (2)	72 (11)	155 (13)	0 (0)	1,472 (1,480)
医療用ガス供給設備の保守点検業務	36 (3)	27 (1)	9 (2)	36 (3)	0 (0)	257 (256)
医療機器の保守点検業務	2 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	4 (4)
院内滅菌消毒業務	11 (0)	1 (0)	10 (0)	11 (0)	0 (0)	35 (37)
計	321 (23)	207 (7)	113 (15)	320 (22)	1 (1)	2,569 (2,587)

注1: 左記表の数値は、事業者数(但し、(※)の業務は施設数)

注2: 左記表の()内は新規再掲

注3: 患者搬送業務については、今回申請なし

注4: 認定有効事業者等の総数[参考]欄の()内数字は平成30年2月1日付認定有効数

◆ 「Good Job! コーナー」 「こんなに頑張ってます！」

高松帝酸株式会社
医療ガス営業部 浅田 明彦



弊社は「在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務」と「医療用ガス供給設備の保守点検業務」で本サービスマーク認定事業者となっており、医療用ガス、医療設備の設計・施工・保守・点検、在宅医療サービスを提供しています。

医療ガス営業部では、在宅医療サービスにおける在宅酸素療法(HOT)をはじめとした各種医療機器レンタルサービス、施設内における医療機器・介護機器の販売・レンタル等、院内から在宅までトータルソリューションを提供しています。

特に、在宅酸素療法における機器レンタルサービス提供は、当部の主力業務であり、四国四県(香川県・愛媛県・徳島県・高知県)の6拠点で本サービスマークの認定を受けております。

認定を受けた当初は更新時審査前に大慌てで必要な帳票類の準備をして審査に臨んでいましたが、

現在では各拠点で審査に必要な帳票管理をメンバー全員が実施できるよう期間を決めて持ち回りで担当しています。その結果、審査のためにやるのではなく、患者様の安心と安全を確保するのが認定事業者の責務であるという意識が根付いています。

また、患者様の安心と安全を確保することにより、医療機関様から信用・信頼を得ることに繋がっております。一例ですが、医療機関から患者様の機器トラブル連絡に対する対応状況の説明を求められた時のことです。連絡への対応内容だけではなく、その機器の点検状況(受け入れ・出荷・設置・定期点検)も合わせて報告したところ、「そこまできちんと機器を管理しているのなら大きなトラブルではないだろうから安心したよ。」とのお言葉とともに、その後も継続的にHOTの処方をいただくことができました。

もっともっと本サービスマークのことが、多くの医療機関様に認知されることが、認定業者のレベルアップになるだけでなく、委託業者として選んでいただける判断基準になると思います。そのためにも基本業務の徹底を継続させ、認知度アップに貢献できるように取り組んで参りたいと思います。

◆ 医療現場からの声

医療法人社団協友会
横浜なみきリハビリテーション病院
事務長 平澤 誠



当院は、1986年に屏風ヶ浦病院として誕生、2012年に少子化により閉校した小学校跡地の有効活用事業として金沢区並木に移転し「横浜なみきリハビリテーション病院」として名称を変更すると共に、構造・機能をさらに充実させ、回復期リハビリ

テーション病棟(144床)、障害者病棟(44床)、医療療養病棟(36床)、計224床となっており、2つのリハビリテーション室、9つの言語聴覚療法室のほか、芝生のリハビリガーデンや菜園など特色のあるリハビリ施設を有しております。

移転開設してから5年が経過いたしました。現在でも回復期リハビリテーション専門病院として急性期病院からのニーズは高く、横浜市内では回復期リハビリテーション病床が1番多い病院となっており、金沢区内はもちろん他県や隣接地域など幅広く患者様の受け入れを行っております。

当院に入院される患者様は、在宅復帰に向けた

リハビリテーションを目的として入院されますので、急性期病院よりも長期に入院することになります。患者様やご家族様が転院先の病院を決定する際は、医療サービスの質だけでなく、設備面、環境面そして、医療関連サービスから提供されるサービスについても重要な判断要素となっております。

当院では、法令で定められている委託業務については、すべて外部委託業者をお願いしております。

また、委託業者を決める基準の中にサービスマークの認定が必須条件ともなっており、最近ではどこの医療機関も同様で一般的なものとなってきております。

今後は、外部業者に委託する関係だけでなく、医療機関側からみて、認定を受けている委託業者が「医療機関側からどれだけ高い満足度を得ているのか」再認定の際などに評価をして頂き、医療機関側からもわかるような仕組みにさせていただけると採用する側からも分かりやすく、サービスマーク認定事業者の中でも差別化やそれぞれの事業者の自己研鑽の向上に繋がるのではないかと考えております。

今後も医療機関の運営を支えて頂く重要なパートナーとして積極的な取り組みをお願いしたいと思います。

トピックス

●在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務に係るチェックリスト一部改正について

【適用年月日】 平成31年2月1日認定調査分から

- 【改正のポイント】 ① 法令等の改正に伴う見直しを行った。
② 事業者の受託形態毎に調査項目を明確化。
③ 緊急災害時の対応体制の新規項目を新設。
その他、解釈に齟齬が生じぬよう調査実態に即した改定を行った。

●院内清掃業務に係るチェックリスト一部改正について

【適用年月日】 平成31年6月1日認定調査分から

- 【改正のポイント】 ① 従事者のストレスチェック実施項目を新設。
② 日常的な健康管理のチェック項目を例示。
③ 契約書に明記すべき事項に新たな要件を追加。
④ 業務案内書・標準作業書の調査項目の追加修正。

※ 詳細は、当振興会ホームページ(<https://ikss.net/>)に掲載しております。

●厚生労働省は、「平成29年度雇用均等基本調査(速報版)」を公表しています。

本調査は、男女の雇用均等問題に関わる雇用管理の実態把握を目的に、毎年実施しています。今回の調査では、育児休業取得者の割合が、女性：83.2%(対前年度比1.4ポイント上昇)、男性：5.14%(対前年度比1.98ポイント上昇)となっています。

詳細は、同省のホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/71-29.html>)を参照ください。

●厚生労働省は、平成29年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」(確報)を公表しています。

また、9月末まで、「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を実施中です。本キャンペーンは、これまで各団体において個々に実施されていた取組について相互に連携を図り、一体的に推進することにより、事業場における熱中症防止に対する意識の向上及び責任体制の確立を含む対策の徹底を図ることを目的としています。

詳細は、同省のホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000208979.html>)を参照ください。

今後のスケジュール等

〈平成30年7月〉

9日(月) 第248回月例セミナー

テーマ：『再考・医療費適正化一削る
医療から守る医療へ』

講師：印南 一路氏
(慶應義塾大学 総合政策学部
教授)

会場：日比谷コンベンションホール

〈平成30年8月〉

〈平成30年9月〉

医療関連サービスマーク認定の申請書類受付

(平成31年2月1日認定分)

3日(月)～18日(火) 衛生検査所業務

14日(金)～28日(金) 在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務、寝具類洗濯業務、患者等給食業務、医療用ガス供給設備の保守点検業務、院内清掃業務、院外滅菌消毒業務、院内滅菌消毒業務、患者搬送業務、医療機器の保守点検業務

医療関連サービスマーク認定審査委員会開催日
(平成30年10月1日認定分)

6日(木) 衛生検査所調査指導中央委員会

13日(木) 患者等給食部会

医療用ガス供給設備の保守点検部会

14日(金) 在宅酸素供給装置の保守点検部会

医療機器の保守点検部会

19日(水) 滅菌消毒部会

寝具類洗濯部会

院内清掃部会

21日(金) 衛生検査所専門部会

26日(水) 評価認定制度委員会

4日(火) 第249回月例セミナー

テーマ：『我が国における医療ビッグ
データ活用の現状と課題』

講師：山本 隆一氏
(一般財団法人 医療情報シ
テム開発センター 理事長)

会場：日比谷コンベンションホール

ハートマークだより

発行：一般財団法人医療関連サービス振興会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-11-11 第二フナトビル 3F

TEL：03-3238-1861 FAX：03-3238-1865

URL：http://www.ikss.net